

エルガード通信

2006年6月号

【発行】日本エルガード協会広報委員会
(事務局)東京都千代田区六番町 6-28
住友大阪セメント㈱建材事業部内
TEL03(5211)4756 FAX03(3221)5183
office@elgard.com

平成18年度スタートにあたり

技術委員長 五洋建設㈱ 内藤 英晴

2001年に日本エルガード協会が発足してから6年目を迎えました。

この間、建設投資額は61兆円から51兆円に減少しています。

これからさらに建設投資が縮小していくなか、一方で維持管理に要する費用が増加していくことになります。

そこでは、優れた技術により社会資本を効率的に活用していくことが要求されます。

電気防食工法であるエルガード工法はそのような要求に応えることのできる技術です。

しかし、いかに優れた技術であっても、更なる技術開発を推し進めて幅広い国民のニーズを満たす努力が必要です。

また、技術の信頼性を確保するには、技術に裏打ちされた技術者により施工されることが必要です。

そのような要求に応えることができるよう技術委員会では、幅広い活動を行っています。

これからの維持管理に時代に向け、エルガード協会が更なる発展を遂げることができるよう、会員各社のご協力とご支援をお願いいたします。

平成18年度第1回理事会の報告

平成18年度第1回理事会が開催され、第6期総会議案(案)および記念講演会等について審議されました。

開催日時など

開催日時：平成18年4月27日(木)14時～15時

開催場所：泉ガーデンタワー 住友会館 44F 洋室1

出席者：茂田会長、今村副会長、佐野理事(新任)、小倉理事(蒔田部長代理出席)、白石理事、渡辺理事、小袋監事、内藤技術委員長、事務局

決議事項

下記報告事項は了承されました。

- 平成17年度第5回理事会議事録の確認
- 書面理事会承認事項「理事選任の件」の確認
- 第6期定時総会議案(案)について
- 記念講演会について
- 懇親会について

日本エルガード協会第6期定時総会の報告

平成18年4月27日、泉ガーデンタワー 住友会館(東京)において、日本エルガード協会 第6期定時総会、記念講演会、懇親会が催されました。

第6期定時総会

住友会館 42F 会議室で15時から開催、協会会員30社中26社出席で総会は成立し下記の審議事項が承認されました。

- 第1号議案 平成17年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成17年度決算報告および会計監査報

- 告承認の件
- 第3号議案 平成18年度事業計画承認の件
- 第4号議案 平成18年度収支予算承認の件
- 第5号議案 理事選任の件

記念講演会

住友会館 42F 会議室で16時から開催されました。電気防食技術研究会主催の記念講演会では、国土交通省道路局国道・防災課道路保全企画官茅野牧夫様をお招きし、『『荒廃する日本』としない為の道路管理』と、題して講演していただきました。

第3期の斎藤NHK解説主幹(現農工大教授)、第5期の西村日経コンストラクション編集長が、マスコミの立場で「日本版『荒廃するアメリカ』」を訴えていただきましたが、それを受ける形で、協会初の行政官の登場でした。

『荒廃するアメリカ』の事例を皮切りに、米英の維持管理の実情を、映像を交えながら保全コストの実態を、説明していただきました。

米国では30年経過しても、未だに通行止めの橋が3割弱存在し、後世への大きな負債となっていることが分かり、日本の未来を考えると暗澹たる気持ちにさせられます。

茅野様は、予防保全の重要性を訴え、「点検が大事です。今日は、この一言でいいから記憶に止めてください。」と結ばれました。 有難うございました。

懇親会

住友会館 42F 会議室で18時00分から来賓18名を含む総勢90名の出席の下、茂田会長の挨拶、道路保全技術センター 多田顧問から乾杯のご発声を賜りました。

懇親会は京都大学 岡田名誉教授の中締に至るまで1時間半にわたり催され、和やかな雰囲気の中でお開きとなりました。

第3回JCPEコンクリート電気防食管理技術者養成講習&認定試験実施の報告

平成18年6月15日、東京・大阪2会場で、「JCPEコンクリート電気防食管理技術者」養成講習&認定試験が実施されました。

養成講習

東京会場24名、大阪会場27名が受講しました。

講師

基礎編 東京：峰松(住友大阪セメント)、大阪：内藤(五洋建設)
設計編 東京：峰松、大阪：山本(日本防蝕工業)
施工編 東京：大久保(ショーボンド建設)、大阪：山本
維持管理編 東京：小笠原(五洋建設)、大阪：香川(住鉱エコエンジ)
実技編 東京：峰松、大久保、小笠原 大阪：山本、香川

認定試験

東京会場26名、大阪会場27名が受験しました。合格発表は7月下旬を予定しています。

新規入会会社から一言 ㈱仲田建設 西嶋大道

日本エルガード協会の皆様のご指導、ご推薦を戴き、平成18年度の4月から入会させて頂きました㈱仲田建設でございます。今後、日本エルガード協会の皆様方には、工法に関することで質問やご指導等でご迷惑をお掛けする事が多々生じると思いますが、ご指導の程宜しくお願い致します。当社は福岡県を本拠地に九州一円、関東、北海道でコンク

リート構造物の調査・設計、施工を行っている会社ですが、九州管内の海岸沿いや沖縄県全域では台風の影響を受け腐食環境が厳しく、これまでに多くのコンクリート構造物に塩害対策が施されている。しかし、これまでの塩害対策としては、ひび割れ補修工、断面修復工、躯体と大気中とを遮断し延命する表面被覆工等工法が主流で設計、施工されていた。昨今、これらの補修された構造物に再損傷が発生し再補修対策を必要とする構造物が多くなっており、再調査及び補修設計が発注されている状況であります。これらの補修対策として電気防食工法の適応性やLCCの評価等で当協会のご指導を受け、技術力の向上及び電気防食工法の普及に努めたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

会員から一言 ショーボンド建設㈱ 大久保謙治

私は、エルガード協会の発足当初から、委員会およびWGに参加させていただいています。各委員会、WGでは、多くの事を学ばせていただき、委員の皆様とのお付き合いも深めることができましたことを御礼申し上げます。今後も微力ではありますが、引き続きお手伝いをさせていただく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

弊社では、コンクリート構造物の「ガン」である塩害に対する工法として電気防食工法を提案させていただく機会が増え、採用される事が多くなっています。

「電気防食をすることで構造物の延命化を図る事が本当に可能な？」と言うようなお話は少なくなっていますが、依然として「電気防食は他工法と比べて施工費が高価すぎる」「外部電源方式の電気防食は施工後の維持管理が難しい」との指摘を受けることがあります。

電気防食の効果に加え、他工法とのLCC比較による工法の有効性と維持管理の方法および支援方法等について今後も、さらに委員会、WGで議論していただきエルガード協会としての考え方を広くアピールしていただければ幸いです。

私事で恐縮ですが昨年の7月より営業本部へ配属となり九州支社に駐在しています。

港湾および電気防食関係の専門職として新たな気持ちで、九州支社管内を中心に仕事をしています。

エルガード協会の活動を進める上で皆様には今まで以上に御迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが今後もよろしくお願い申し上げます。

委員会活動状況の報告

技術委員会 技術委員長 内藤 英晴

活動状況

技術委員会では、下部組織として4つのWG(設計、応用編、認定試験運営、養成講習)を設けて活動しています。また、材料学会への委託研究(ASRへの電気化学的防食工法の適用性検討)にも参画しています。

技術委員会 2/15(30)、3/31(31)、5/16(32)

設計WG 12/31(2)、2/15(3)、3/31(4)

応用編WG 3/17(1)、5/16(2)

認定試験

養成講習WG 11/10(1)、2/15(2)

運営WG 5/16

認定試験 6/15(木) 53名が受験。

ASR委員会 3/7(11)、4/24(12)

活動報告

第3回JCPEコンクリート電気防食管理技術者2006年度認定試験を準備し、6/15に東京・大阪同時に実施しました。

設計WGで、チタノボンプメッシュ陽極の配置間隔に関する検討を行いました。

応用編WGで、今年度の技術講習会用資料(応用編パート1)の作成を検討中です。

今後の予定

① 設計WGのチタノボンプメッシュ陽極の配置方法に関する技術資料の取りまとめを行います。

② 新たに発足した応用編WGのメンバーは以下の通りです。小笠原リーダー(五洋建設)、峰松(住友大阪セメント)、壹岐(若築建設)、山本(日本防蝕工業)、大久保(ショーボンド建設)

③ASR委員会 7/4(13) 今年度中に成果を取り纏め対外発表の予定です。

施工委員会 施工委員長 渡辺 寛

活動状況

施工委員会では、現場見学会の企画や他の委員会の支援活動を行っています。

施工委員会 6/6(18)

今後の予定

① 施工、維持管理に関するアンケートの実施アンケートを実施し、施工、維持管理上の課題を抽出し、今年度の企画を検討する。

② 施工WG、維持管理WGは役目を終えたので、一旦解散することになりました。ご協力有難うございました。

広報委員会 広報委員長 白石 弘

活動状況

広報委員会では、下部組織の積算WG、LCC・WGで橋梁・栈橋のLCCを検討し、協会内部資料を作成しました。

また、今年度の技術講習会にその成果を反映すべく、講習会プログラムの改訂に取り組んでいます。

広報委員会 5/19(36)

積算WG 3/10(7)

LCC・WG 2/16(10)

活動報告

① 積算WG、LCC・WGは各々の成果を報告し、協会内部資料と位置付けました。

② ①の2グループを統合し、新たに発足したLCM・WGのメンバーは以下の通りです。

佐野リーダー、中川(東洋建設)、野上、壹岐(若築建設)、山田(ピーエス三菱)、安田(佐伯建設工業)、香川(住鉱エコエンジ)、笹川(ナカボータック)、大久保(ショーボンド建設)、久(化工建設)小袋(日本防蝕工業)、小笠原(五洋建設)、羽瀧(東亜建設工業)、橋(昭和コンクリート工業)、高橋(ドービー建設工業)、峰松(住友大阪セメント)

今後の予定

① LCM・WGは、橋梁・栈橋のすり合わせを含め、対外発表に向けて成果を取りまとめていきます。

② 今年度の技術講習会を東京(9月)・大阪(10月)・名古屋(11月)の3会場で実施します。

講演者は、守屋主任研究員(土研 東京)、阪田教授(岡山 大 大阪)、六郷教授(岐阜大 名古屋)です。

今後の協会行事日程

年	月	日	行事
18	6	28	第1回LCM・WG
18	7	25	技術・施工・広報合同委員会

- エルガード通信に関する会員皆様のご意見をお寄せ下さい。